

これ知っとう?

わが町の宝物 第4回

さらやまこうえん
皿山公園

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…。須恵町の大切な宝物をご紹介します。



町の北部に雄大に横たわる若杉山。その山ろくに町立皿山公園があります。

眼下には、須恵町の全景はもちろん、福岡市、博多湾を望む一大パノラマが広がります。

毎年、4月下旬から5月初旬にかけ、約3万本のつつじが咲き乱れ、その見事な景観をひと目見ようと、町内外から多くの人々が訪れます。

つつじの他にも梅・桜・菖蒲・あじさい・藤・椿など四季折々の花や、美しい紅葉を楽しむことができます。また、カンラン岩の巨石がゴロゴロと積み重なった自然のままの地形も見所です。

くじゃくなどの鳥がいる小動物園や、蒸気機関車、遊具広場など、お子さんが楽しめるスポットもあります。

また、園内には、町立歴史民俗資料館があり、昔なつかしい生活用品や町の歴史に触れることができます。

一年を通してゆっくりと自然を感じられる癒しの空間「皿山公園」に、ぜひお立ち寄りください。

須恵町立歴史民俗資料館
入館料：無料
開館時間：午前10時～午後5時まで
休館日：月・火・水曜日（祝日は除く）
8月1日～8月15日まで・12月25日～1月10日まで

春休みなので
ひ孫と一緒に来ました。

毎日散歩
しています。

皆さんにきれいな花を見てもらえるように、枝の伐採や道の整備をしています。休憩用の丸太のイスも設置しました。ぜひ来てください。

池で鯉に
エサをあげました。

村山美耶子さんと有くん
(上須恵区)

川内 明さん
テル子さんご夫婦
(旅石区)

今泉國次さん
(町有林管理士)

お亡くなりになられた方々に哀悼の意をささげると共に、被災された方々が、一日も早く平穏な生活に戻られることをお祈りしております。

本町議会でも災害対策関連予算を、今議会で可決しました。私たちも日頃から、災害時の対応について、家族で話しあっておきたいものです。

今村桂子

編集後記

4月に発生した熊本地震により、多くの命が失われ、家屋の倒壊やがけ崩れなどにより、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。最大震度を記録した熊本県益城町をはじめ、西原村、氷川町、大津町、御船町の各議会は、以前に、議会広報研修のため来町され、親しく意見交換をさせていただきました。

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子
副委員長：白水 勝元
委員：合屋 伸好
委員：三角 栄重

福岡県須恵町議会だより

2016
198号
MAY

平成28年5月2日発行

須恵

3月定例会

主な内容

- 過去最大の予算を可決 2
- 平成28年度事業の目玉 6
- ここが聞きたい 10
(一般質問)
- これ知っとう? 16
(皿山公園)

表紙シリーズ / 未来を担う子どもたち「1年生はじめての給食」

2016
5
May

須恵町議会だより Vol.198

【発行】須恵町議会 【所在地】〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町 771 番地
【TEL】092-932-1151 (内線 411 議会事務局) 【FAX】092-933-6579
【印刷・製本】株式会社三光



平成28年第1回定例会は、3月2日から18日までの17日間で行われました。提案された28件の議案のうち「須恵町政治倫理条例の一部改正案」を否決、その他の議案はすべて可決・承認しました。

整う教育

増える人口

3月定例会

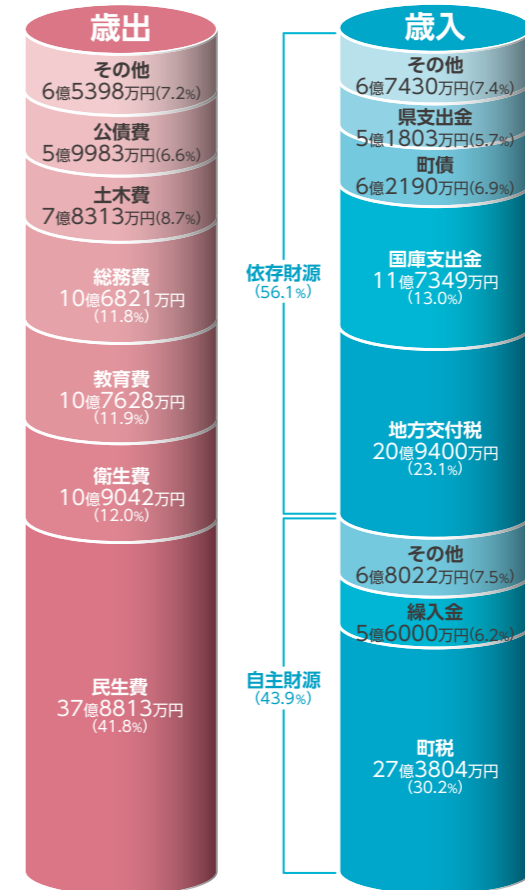
一般会計当初予算 過去最大の予算を可決

一般会計

平成28年度一般会計当初予算は、90億6000万円、初めて90億円を超える予算規模となりました。
歳入では、町税が1億3800万円ほどの増収を見込み、27億3804万円（前年度比5.4%増）となっています。
国庫支出金は、昨年度に引き続き、所得の低い年金受給者の方を対象とした「臨時福祉給付金」の財源を始めとして11億7349万円（20%増）を見込んでいます。
歳出では、アザレア幼児園建設に2億9376万円、須恵中学校の校舎外壁改修に1億円、国の交付金を活用した道路橋梁の補修事業におよそ2億500万円が計上され、交通の安全の確保や生活環境の維持・向上が図られます。

平成28年度の主な事業は6ページ、工事は8ページでも紹介しています。

一般会計 前年度比 8.2%増
90億6000万円



- 財政調整基金繰入金 (貯金の取り崩し) 5億6000万円
- 町債 (借金) 6億2190万円
 - <内訳>
 - 臨時財政対策債 3億1000万円
 - アザレア幼児園建設事業債 2億2890万円
 - 一般会計出資債 300万円
 - 道路改良事業債 8000万円

すべてのページにおいて金額は、1万円未満を切り捨てています。

特別会計

国民健康保険特別会計

37億7300万円

被保険者数が減少

前年度より1億200万円の減額となりました。被保険者数が約220人減少したことが主な要因です。被保険者数は、全国的に減少傾向にあります。財源不足を補うため、2億円を一般会計から繰り入れています。

公共下水道事業特別会計

11億7800万円

普及率8割超え

平成28年度は、上須恵・南米里・新原・甲植木・乙植木の各地区で管渠築造工事が行われます。平成27年度末における須恵町の下水道普及率は、82.3%（公共下水道・農業集落排水あわせて）となっています。

後期高齢者医療特別会計

2億8100万円

農業集落排水事業特別会計

7700万円

水道事業会計

緊急時用連絡管 布設工事を実施

緊急時に、水道水が安定供給できるよう、佐谷浄水場から第二浄水場までの連絡管を布設する工事が、平成27年度〜29年度の3カ年事業で行われています。平成28年度は、佐谷橋から第二浄水場までの連絡管布設（工事長860m）およびポンプ室の設置（2カ所）が行われます。この事業は、国庫補助対象事業です。



平成28年度各会計当初予算

会計区分	28年度予算額	27年度予算額	比較 (%)	議決結果	
一般会計	90億6000万円	83億7000万円	8.2	賛成多数で可決	
特別会計	国民健康保険	37億7300万円	38億7500万円	△2.6	賛成多数で可決
	後期高齢者医療	2億8100万円	2億8800万円	△2.4	賛成多数で可決
	公共下水道事業	11億7800万円	12億7000万円	△2.4	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	7700万円	7800万円	△1.3	全員賛成で可決
水道事業会計	収益的支出	5億8124万円	5億8942万円	△1.4	全員賛成で可決
	資本的支出	3億2238万円	3億3920万円	△5.0	

Q&A

予算審査特別委員会の質疑から

28年度分・一部抜粋



堆肥センターの修繕は?

すえつ肥は、人気があり、売れ行きが良いと聞いている。また、コンクールで入賞するなど、とても良いものを作っているのに、堆肥センターは、ストックヤードのブロック塀および屋根が破損し、危険度が高い。修繕を行うべきではないか？



長期修繕計画に基づき、再度検討したい。(地域振興課長)



不登校児童生徒適応指導教室の指導者は?

P.6 28年度事業の目玉参照



専門の職員を配置するのか?

学校の先生の資格を持った指導員1人と、補助員2人の計3人を配置する計画。不登校の児童・生徒が学校復帰できるように支援を行っていきたく考えている。



現段階では、公共施設に空きがないため、民間アパートの一室を利用する予定。(子ども教育課長)



教育相談の件数が多いのはなぜか?

須恵町では、スクールカウンセラーやSSWの相談件数が多いとのことであるが、なぜか？



須恵町では、町独自で、すべての小中学校にスクールカウンセラーを配置、中学校区にSSW2人を配置し、きめ細かな相談体制ができています。そのため、相談件数が多くなっています。(子ども教育課長)

※SSW(スクールソーシャルワーカー) いじめや不登校など学校教育全般の相談や、子どもを持つ保護者の家庭教育全般の相談に対応し、家庭・学校・地域社会をつなぐ相談員。



ふくおか良質堆肥コンクールにおいて金賞を受賞



エコ堆肥 すえつ肥(すえつび) 好評販売中!! (須恵町ホームページ)



破損したブロック塀と屋根



政治倫理条例の一部改正案を否決



資源ごみの持ち去り防止を

須恵町政治倫理条例第5条に規定する資産及び所得等報告書の提出の適用を受けるものうち、副町長と教育長を対象から除外する内容の条例改正案が提出され、審議の結果、反対多数で否決しました。



今回の改正案では、所得と資産の報告は除外しているが、その他の金品授受の禁止、町職員採用に関する推薦・紹介の禁止等は残している。

外しても問題はないと考える。

反対 田ノ上真議員

議論不足を痛感 制定時の議論を尊重すべき

Q 町の三役であるので、今までどおり報告することの良いのでは？



副町長と教育長は、公職選挙法による選挙で選ばれた政治家ではないため、報告の必要はないと考える。



反対 白水勝元議員

情報公開の範囲を狭くする

副町長・教育長は、間接的に選挙で選ばれていると言える。また、健全な民主主義を保つためには情報公開が必要だが、この改正案はその公開範囲を狭くするものである。



Q 備品購入等への口添えや金品の授受等に対して、潔白を証明するためにも、改正すべきでないのでは？

賛成 三角米重議員

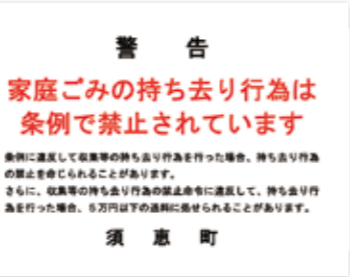
除外しても問題はない

町長の責任で、副町長・教育長を選んでいる。選挙で選ばれていなければ、対象から除



監視を強化したリサイクルボックス

- 町内では、リサイクルボックスや各家庭のごみ置き場から、資源ごみが持ち去られる事案が多発しています。これらを未然に防止するため、条例の一部改正案が提出され、全員賛成で可決しました。
- 須恵町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正(罰則規定等を追加)
- 町の委託を受けた者以外は、収集等を行ってはならない。
- 違反した者は5万円以下の過料に処する。



警告 家庭ごみの持ち去り行為は条例で禁止されています

持ち去り行為を見かけたら...

持ち去り行為を発見した場合は、日時・場所・資源物の種類・車両や持ち去り者の特徴などを地域振興課までお知らせください。

地域振興課 ☎ 932・1438





須恵町 オープンノベーション 戦略推進事業

5,220
万円

企業や大学が持つ技術やアイデアを組み合わせて新しい価値を作り出すオープンノベーションの考え方を活用し、町内企業の「企業力の底上げ支援」に取り組みます。
町内企業が抱える諸問題解決のため、必要な調査を行い、新たな事業・技術開発による仕事の創出や、企業PRによる雇用の確保を支援します。

さへしやま



行政評価制度実施

260
万円

町の政策の効果を把握・分析して評価を行い、その結果を次の企画立案や実施に役立てることを基本とする制度です。
平成28年度から数年をかけ、職員の人材育成事業を行うとともに、事務事業の整理・見直し等を行います。



地域防災計画の 見直し

1,080
万円

地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、災害発生時の応急対策や復旧など、災害に係る事務や業務について定めた計画です。
須恵町では、平成18年3月に策定しましたが、東日本大震災の発生により、災害対策基本法が改正されたことから、地域防災計画の見直しを行うものです。



のうわが 脳若トレーニング

38万円

健康

認知症を予防する脳若トレーニングが、わくわくデイサロン(介護予防教室)の新規メニューとして始まります。
最新機器のiPadを使って行う、楽しい認知症予防トレーニングです。



トレーニングを楽しむ高齢者



乳児家庭 全戸訪問事業

委託料
24万円

出生から生後4か月までの間に、保健師・助産師が、すべての家庭を訪問しています。
保護者が不安や悩みを気軽に相談できる場として活用いただき、お子さんの発達・発育を保護者と一緒に見守ります。
また、訪問時に、予防接種や地域の情報など、子育て支援に関する情報提供も行います。



不登校児童生徒 適応指導教室

1,200
万円

子育て支援

通称「やまももルーム」
心理的・情緒的な理由により登校できない児童(高学年)・生徒とその保護者に対し、指導・支援を行います。
組織的かつ計画的に適応指導等を行うことで、学校への復帰・進路保障を図ることを目的としています。
平成28年5月に開所予定です。



元気に登校する子どもたち
(この写真は内容とは関係ありません)



夏休み子どもの 居場所づくり事業 (シルバー人材センター委託事業)

60万円

通称「須恵っ子サマーデイルーム」
夏休み期間中に、留守家庭で日中保育できない保護者に代わり、児童の保育を行うことを目的とした子育て支援事業です。町内の小学校1年生から6年生の児童が対象です。



地域活性化センター1階
レクリエーションルームで実施予定



事業の 目玉

平成28年度



乳幼児・子ども 医療費支給制度改正

995
万円

医療

子育て家庭の経済的負担軽減のため、助成の対象が拡大されます。平成28年10月1日から、小学生の通院と中学生の入院費用も対象になります。

改正内容

- 名称
「乳幼児・子ども医療証」→「子ども医療証」
- 自己負担額(平成28年10月から)

年齢区分	通院・入院	自己負担額
3歳未満	通院・入院	無料
3歳以上 小学校 入学前	通院	800円まで (一病院・一月あたり)
	入院	500円 (一病院・一日あたり) ※上限7日
小学生	通院	1,200円まで (一病院・一月あたり)
	入院	500円 (一病院・一日あたり) ※上限7日
中学生	通院	対象外
	入院	500円 (一病院・一日あたり) ※上限7日

変更箇所を赤字で示しています

工事が施工されます

アザレア幼児園 新築工事

2億9376万円(28年度分)

年々増加する保育所待機児童の解消に向けたアザレア幼児園の新築・拡充工事は、平成28年7月末までに完了予定です。

平成27年	10月	工事開始
平成28年	7月	工事完了予定
	8月	引っ越し・ 機械機器等の試運転
	9月	開園予定



着々と進む工事(旧山の神グラウンド)

須恵東中学校 大規模改造工事

2億6000万円

須恵東中学校は、平成元年の開校から27年が経過しました。外壁や内装の老朽化が進んだため、校舎全体の大規模改造が行われます。安全面を考慮し、二期に分けて施工されます。今年度は、夏休み期間中に、教室棟(希望の階段側)と多目的棟の工事が行われる予定です。



開校から27年が経過した校舎



老朽化が目立つ正面玄関外壁

須恵中学校校舎 外壁改修工事

1億円

須恵中学校は、前回の大規模改修から15年ほど経過し、外壁の老朽化が目立っています。昨年度の第一期工事に引き続き、今年度は、第二期工事(本館棟)が行われます。夏休み期間中に施工完了予定です。

3月定例会 その他の 議案

平成27年度一般会計補正予算
9887万円を追加
総額 93億8054万円
(全員賛成で可決)

中学校ランチサービス
利用者が見込みを下回る

中学校ランチサービス業務委託料
1832万円減額



平成27年5月にスタートした中学校ランチサービス(メニューの一例)

当初、1日400食程度の利用を見込んでいましたが、実際は、平均で約190食(全体の約23%)の利用にとどまりました。保護者負担は1食270円で、1か月単位の事前注文制となっており、生徒・学校・保護者の声をきいて検証を行い、より利用しやすいサービスになることを期待します。

3事業を追加し、 28年度へ繰り越し

国の補正予算により、補助金の交付が決定したため、次の3事業が追加されました。いずれも、平成27年度中に完了することができないため、28年度に繰り越して事業を行います。

自治体クラウドサービス提供業務委託 (子ども・子育て支援新制度に対応するための電算システムの変更業務委託)	260万円
オープンイノベーション戦略推進事業費 ※7ページ参照	5220万円
須恵東中学校大規模改造事業 ※8ページ参照	2億6720万円

採決結果

須恵町税条例等の一部を改正する条例の一部改正(専決処分)	賛成多数で承認	須恵町職員の退職管理に関する条例の制定	全員賛成で可決
須恵町立認定こども園条例の制定	全員賛成で可決	須恵町印鑑条例の一部改正	賛成多数で可決
町営路線の認定及び変更	全員賛成で可決	須恵町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	賛成多数で可決
平成27年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算	全員賛成で可決	須恵町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
平成27年度須恵町後期高齢者医療特別会計補正予算	全員賛成で可決	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
平成27年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算	全員賛成で可決	須恵町手数料条例の一部改正	賛成多数で可決
平成27年度須恵町農業集落排水事業特別会計補正予算	全員賛成で可決	須恵町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
平成27年度須恵町水道事業会計補正予算	全員賛成で可決	須恵町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	全員賛成で可決	須恵町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成で可決		

第1回

臨時会

平成28年2月19日

人事院勧告に基づく一般職および特別職の国家公務員の給与改定に準じた給与の改定案など、6議案を審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
- 平成27年度須恵町一般会計補正予算
- 平成27年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成27年度須恵町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成27年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算
- 平成27年度須恵町水道事業会計補正予算

医療

子ども医療費助成拡充は自己負担(窓口負担)なく 入院・通院とも中学3年生卒業まで無料化を

郡内統一で検討

問 須恵町では、平成24年度から27年度までに人口は907人増加しています。

中嶋町長は、27年9月定例会で、中学3年生までの入院に限った無料化の方向性を示され、また26年度「広報すえ」では「子育てするなら須恵町で、老後を暮らすなら須

恵町で、住んでよかったと実感できる町づくりを実現したい」と述べられました。

今、子育て世代の子どもの貧困の連鎖が大きな社会問題となっています。安心して子どもを産み育て、教育する環境が必要です。義務教育が終わる中学3年生卒業まで通院・入院とも自己負担(窓口負担)なく医療費の無料化を拡充すべきです。

生の入院まで助成を拡充する条例改正議案をこの3月議会に提案しています。

引き続き、検討していきたいと考えています。

須恵町の財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、87・0%です。糟屋郡内の市町は、85・9%から97・5%の範囲にあります。町村規模での弾力性の上限と言われる75%を大きく上回り、硬直化の傾向が顕著です。

どの自治体も政策的に使える財源が乏しく、台所事情と直面しながら、いかに行財政効率を上げていくかが地方に求められています。

次世代を担う子どもたちの健やかな成長と発達、少子化対策として、どのような支援策が最も効果的であるのか、子ども医療費助成制度拡充も含めて、糟屋地区の市町とも



答弁中の中嶋町長

一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をだし、報告や説明を求めることです。



児玉 求 議員

答 中嶋町長

昨年の6月・9月議会でも同様の質問を受け、その都度お答えしてきました。先ごろ、糟屋郡内の方向性がまとまり、中学

地域

暮らしのコミュニティ推進体制確立を 推進していく

問

平成13年にコミュニティ事務局が小学校の空き教室に開設され、15年が経過しました。コミュニティをまちづくりの柱と位置づけ、平成26年には「暮らしのコミュニティ」への転換を打ち出されました。

しかし、現状の推進体制では、行政区役員兼務のため、町長部局の事業「暮らしのコミュニティ」まで進展していかないのではないかと思います。今後の方向性として協働のまちづくりを進めるうえで、行政各課が校区コミュニティを活用した、お互い有益な事業展開を図る必要があると思います。行政内に特化したコミュニティ課・係を設置することにより、暮らしのコミュニティ構想が推進するのではないのでしょうか。

答 中嶋町長

本町では、教育を基盤に据えたまちづくりを進めています。教育だけにどまらず、これからは、暮らしと密着したコミュニティを進めていく必要があると考えています。



今村 桂子 議員

行政

職員を育てる取り組みは 資質向上に取り組む

問

ここ数年間で課長級職員の半数以上が退職したり、定年を迎えます。再任用制度の活用や、議会への説明を課長補佐・係長にさせるなどの改善が見られるようになりました。

今後の役場を背負って立つ職員を育てる取り組みをどのようにされていますか。

この数年間で課長級職員の半数以上が退職したり、定年を迎えます。再任用制度の活用や、議会への説明を課長補佐・係長にさせるなどの改善が見られるようになりました。

今後の役場を背負って立つ職員を育てる取り組みをどのようにされていますか。

答 中嶋町長

昨年の下半期から、人事評価制度を採り入れ、勤務評価・能力評価・業績評価を職員に課し、資質向上に取り組んでいます。

一般質問

ここが聞きたい!

※質問の全文を記載しています。
※「問」については、議員が提出した通告書どおりに掲載しており、編集は行っていません。

施設

町立図書館の早期建設計画を

必要性は感じているが…

問

現在、糟屋地区内で、図書館としての建物がないのは須恵町だけです。延床面積で比較しても他町に比べ手狭で、機能的にみても不足しています。老若男女に広く利用される最たるものは図書館だと思います。町民は早期の図書館建設を待ち望んでいます。

平成26年6月議会で、同僚

答

議員が図書館の建設に向けて一般質問をしましたが、その後どのように取り組んでくれたか。また、建設予定地としてどこを考えておられるのか。そして、築41年が経過したあおば会館は老朽化が目立ち、大型地震等が来れば倒壊の恐れがあり、安心安全の観点から危険防止対策についても質問します。

中嶋町長

平成26年6月の一般質問で、図書館建設について話をさせていただき、その必要性は感じています。



世利 孝志 議員

しかしながら、高齢者福祉施策・待機児童問題・学校の増改築や耐震化工事など、住民生活に直結する喫

緊の課題を抱えており、緊急性の高い事業から優先的に着手しているのが現状です。

図書館や文化会館は、文化施設の最たるものとして位置付けていますが、前述した事業に加え、予期せぬ災害発生に備えた人命最優先の防災拠点の整備も重要です。

須恵区に中部防災センターの用地取得を行うなど、現在のところ計画が立てにくい状況にあります。



築41年が経過した あおば会館

一／般／質／問

町政を問う！

委員会レポート

総務建設産業委員会

水道水の安定供給

生活の基盤となる水は、須恵ダムなど町単独水源のほか、福岡地区水道企業団から受水を確認し、各家庭に安定して供給されています。2月8日(月)、その福岡地区水道企業団関連3施設を視察しました。



独立行政法人水資源機構 筑後大堰管理室

筑後川の河口23kmの位置にある筑後大堰は、総延長約500mの可動堰で、福岡・佐賀県内330万人の水道用水および農業用水を確保するため、

流況の変化に対応した操作が行われています。



独立行政法人水資源機構 福岡導水管理室

須恵町を含む、福岡都市圏9市7町の水道用水として、筑後大堰の湛水区域内から取水し、水圧で約80m押し上げ、大野城市の牛瀬浄水場まで延長約24・7kmを、365日24時間通水しています。

最大毎秒2164m³の通水を行うため、ポンプの管理や厳しい監視が行われています。



海の中道 海水淡化化センター

海水から淡水へ



福岡地区水道企業団は、筑後川からの導水、各ダムの水源のほか、海水淡化事業を進め、安定給水を確認しています。



町上下水道課との意見交換

2月に福岡を襲った大寒波により、須恵町でも町内各地域で水道管の破裂が発生しましたが、給水不可による断水はありませんでした。町の水源だけでなく、福岡地区水道企業団から受水しているため防げた事案です。普段の生活用水はもとより、災害等、いざというときに対応できる水が確保されています。

須恵町をより良くするために



2月12日(金)、議会と区長会との懇談会を実施しました。議会から、ぼた山の今後の開発計画について説明をさせていただき、防犯灯の費用負担、消防団への援助金、行政区加入への行政措置、空き家対策等の意見交換を行いました。

議員・区長による合同の須恵町を知る企画(郷土史の勉強会、岳上登山等)の実施により、須恵町の魅力発信のきっかけにしたとの意見が出され、須恵町が魅力ある町になるよう共に協力していくことになりました。

今回が、初めての懇談会でしたが、さらなる意見の交換ができるよう、毎年実施していく予定です。



昭和60年から生活を支え続ける可動堰



高水圧で通水する大型ポンプ

議長通信

ひとめあ 一目上がり

皆さん、「一目上がり」をご存知でしょうか。これは古典落語で、「目が上がっていく」おめでたい断です。登場人物が各家を訪ね、ご隠居と掛け合う場面を少しご紹介します。

『ご隠居のところへ八が来て、掛け軸を褒めます。「いい掛け軸ですね」ご隠居は「これは、賛と言うのだ」次の家で八が「いい三です

ね」と褒めると、ご隠居は「これは、詩と言うのだ」次の家で八が「いい四ですね」と褒めると、ご隠居は「これは、語というのだ」と言われます。八は「何だ、一目ずつ上がっている。今度五と言ったら六と言われるからはじめから六と言おう」と考え、次の家で自慢げに「六ですね」と言うと、ご隠居が「これは、七福神だよ」と切り返した」という落ちです。

先を読むのも大切ですが、早とちりや読み違えがあれば、先に進むどころか後退しなければなりません。私たちの身の回りにも、「一石二鳥」「二人三脚」「三寒四

温」「四分五裂」「五臓六腑」など目が上がっていく言葉はたくさんありますが、先人も「一目上がり」の大切さを実感していたのでしょうか。

改選から一年が経ちました。私たち議員も住民の皆様の付託に応えるべく、現状にとどまらず日々精進し、前進していく所存です。

賛 画面の中に書かれた詩、歌文(俳句などが多く用いられた)「自分で描いた絵に「賛」を書き入れることを自画自賛という」

詩 漢詩

語 格言や高僧の金言等

すえっ子未来誌



作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

ぼた山開発推進協議会 報告



有効活用が期待されるぼた山

3町(志免・須恵・粕屋)にまたがる国鉄志免炭鉱ぼた山開発は、今後の活用に向けて、昨年、基本設計が完成し、工事を着工する方向で関係機関との協議が進んでいます。

展望台・山頂までの遊歩道・駐車場・公園等を計画していますが、最終的には、土壌や地盤、勾配等の詳細な調査を要するため、もう少し時間がかかる見込みです。

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会を生でみてみよう!



なお、次の定例議会は6月13日からの予定です。

人権擁護委員 推薦

任期満了に伴い推薦され、再任に議会が賛成しました。任期は平成31年6月30日までです。

ひらしま みねはる
平嶋 峰晴氏
(藤浦区・69歳)



広報特別委員会 視察研修

平成28年 2月9-10日

読んでもらえる紙面づくりを

2月9日に埼玉県寄居町(64.25km²、人口約3万5千人)、翌日には同県小川町(60.36km²、人口約3万1千人)を訪問しました。

両町は、県中央部で隣接し、ともに全国表彰など広報において素晴らしい評価を受けています。

委託業者が会議に同席するなど密接に関わり、吹き出しを使った臨場感や、本文中の強調文字によるナメ読み対策など、プロの技術を取り入れた制作方法をとられていました。

須恵町も、表紙部門では全国の奨励賞や金賞などの表彰を受けましたが、内容の充実をもっと図りたいと思っています。限られた予算内ですが、読んでもらえる紙面づくりに努力していきます。



寄居町議会だより編集委員会の皆さんと



小川町議会での研修の様子

議会広報全国コンクール 金賞を受賞



須恵町議会だより193号

第30回町村議会広報全国コンクールにおいて「須恵町議会だより193号」が、金賞(表紙写真部門)を受賞しました。45都道府県262町村から応募があった広報紙の中から選考されたもので、二年連続の受賞(昨年は奨励賞)となりました。表紙の写真は、シリーズ「未来を担う子どもたち」と題し、須恵町の子どもに焦点をあててきました。『清々しい笑顔を見せる児童の表情をうまくとらえている。背景をぼかすことで、主人公がより強調。光沢紙の使用で撮影画像の色調などを、より忠実に再現』との評価をいただきました。取材や写真撮影にご協力いただいた皆さまに感謝します。

このメンバーで編集しました

